

13 泉校区コミュニティ協議会（田原市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	泉校区コミュニティ協議会
2 事業名	泉校区住宅対象侵入盗抑止事業
3 事業実施結果	<p>住宅対象侵入盗対策の街頭啓発活動1（A事業）</p> <p>■ベスト、帽子などのパトロール用資材を新たに購入し、見守り隊の活動を強化。また、侵入盗防止のためのサッシストッパー（補助錠）1400個を購入し、地域へ配布することで、侵入盗対策の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パトロール用ベスト、帽子、ジャケット    <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車等貼付けステッカー  

・補助錠（サッシストッパー）



■田原市泉校区内のスーパーマーケットなど不特定多数の市民が集まる施設等で、街頭啓発活動を実施。



- 「ながら見守り」にあわせて地域各戸を訪問する機会を設け、侵入盗犯罪防止の呼びかけを実施。



- 各季安全なまちづくり県民運動期間中に、田原市・田原警察署・地域消防団・自治会等と協力した街頭防犯パトロールを実施。

- ・夏の安全なまちづくり県民運動 合同パトロール



- ・年末の安全なまちづくり県民運動 合同警戒出発式





住宅対象侵入盗の街頭啓発活動実施2（B事業）

■地域の市民館まつり等各種イベントにおいて、田原市・田原警察署と協力した啓発活動を実施。啓発チラシ・啓発品を製作し、イベント来場者へ配布することで、地域住民の防犯意識を高め、もって地域防犯力の向上を目指したもの。

- ・田原市男女共同参画フェスティバルでの空き巣被害防止啓発



- ・泉市民館まつりでの空き巣被害防止啓発

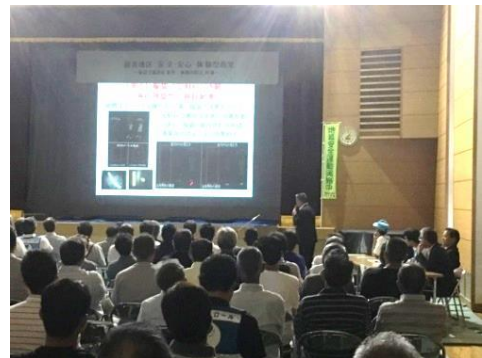


■田原警察署と合同で、地域住民を集めた防犯教室を開催し、自宅の鍵掛けがおろそかになりがちな田原市の地域性にかんがみ、鍵掛けの重要性や、地域同士の住民の声掛けによる防犯の効果などをPRした。

・泉校区体験型防犯教室



・渥美地域体験型防犯教室



(1) 事業実施の成果及び課題

子どもたちを地域で協力して見守る「いずみ見守り隊」は、平成26年に発足。地域有志が、日常生活の中で散歩や買い物、農作業の最中に子どもたちを見守る「ながら見守り」活動を実施している。

田原市において、平成29年に入り住宅侵入盗犯罪が増加するなか、「ながら見守り」のなかに、地域住民に侵入盗への警戒を呼びかける活動を取り入れることで、より一層の地域防犯力を強化することを目指し、本事業を実施した。

・泉校区内の侵入盗発生件数

	空き巣	忍び込み	事務所 荒らし	出店 荒らし
平成28年 12月1日まで	1件	2件	0件	0件
平成29年 12月1日まで	2件	0件	1件	1件

事業実施の結果、空き巣・忍び込みなどによる住宅被害は、前年同時期と比較して3件から2件へと減少した（表参照）。

地道な声掛けや防犯教室の実施、サッシストッパーの配布などの住宅への侵入盗対策が、地域住民の防犯意識向上に結び付き、効果を表したものと思われる。

しかしながら、昨年は発生しなかった店舗、事務所等が侵入盗被害の対象となっており、住宅への侵入盗予防だけでは犯罪の発生を防ぎきれなかった現状も見て取ることができる。

被害は、住宅に隣接する倉庫や農業用施設などに及んでおり、侵入盗被害は住宅に限らないということを念頭に、対策が必要となることが分かった。

(2) 今後の取組み

平成29年における田原市内の空き巣発生は、平成28年のほぼ倍（平成28年10件→平成29年21件）となっており、頻繁に空き巣犯罪発生が報じられ、このような状況下での侵入盗対策事業は、地域住民の大きな理解が得られた。

しかし農家の多いこの地域で、住宅だけでなく様々な施設にカギをかける習慣を広めるに至ったかは、侵入等の発生件数から判断すると、大きな成果が得られたとは言いにくい。

被害の傾向から、住宅以外の施設が犯罪被害にあう傾向があるため、今後の啓発活動においては、これを踏まえた地域住民への声かけが必要であると思われる。

4 成果と課題
及び今後の
取組み

ただし、私たちの活動趣旨は、あくまで「ながら見守り」であり、これを逸脱しないよう注意しなければならない。今後も長く啓発活動が続けられるよう、隊員一人一人に大きな負担を与えすぎないことが、息の長い活動につながると思われる。

子どもの「ながら見守り」と並行しながら、地道に地域住民への空き巣防止啓発を行っていくことを今後の方針としたい。